

システム変更等のお知らせ

(2005.7.5-2005.9.5 変更)

システム運用係

1 ハードウェア … なし

2 ソフトウェア … 変更

2.1 H I - U X / M P P ; mpp-s, mpp-bt … なし

2.2 A I X 5 L ; sr11000-s, batch … 変更

最適化FORTRAN77	01-03 (2005.8.31)
最適化FORTRAN90	01-03 (2005.8.31)

最適化C	01-01 (2005.8.31)
------	-------------------

2.3 V O S 3 / F S ; m-vos … なし

2.4 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix … なし

3 その他

3.1 SR8000/MPP P032 キューの試行サービス終了について

超並列型スーパーコンピューターSR8000/MPPにて試行サービスを行っていたP032キューのサービスは、最近のシステム使用状況により32ノードでのジョブ実行が困難となってきたため、2005年9月2日(金)をもちましてサービスを終了致します。

3.2 SR11000/J1 P008 キューの試行サービス開始について

2005年9月よりベクトル並列型スーパーコンピューターSR11000/J1において、8ノード並列ジョブ実行(P008)キューの試行サービスを開始します。詳細は本誌別記事「SR11000/J1 P008 キューの試行サービス開始のお知らせ」を御覧ください。

3.3 SR8000/MPP 超並列ジョブ実行サービスの一部変更について

現在、SR11000/J1及び運用支援システムとSR8000/MPPでは、SR8000/MPPでの超並列ジョ

ブ実行サービスがあるため、システム停止時間が異なっております。そのため、利用者の皆様には少なからず御利用に影響があったかと思われまます。

つきましては、御利用上の影響を軽減すべく、2005年9月にSR8000/MPPの設定変更作業を行い、10月の超並列ジョブ実行サービスより新設定でサービスを行います。主な変更は以下のとおりです。

- ・サービス時間は毎週第1金曜 17:00～翌週月曜 9:00
- ・運用構成切替時にシステムの再起動を伴わないため、インタラクティブシステム及び、SR8000/MPPに接続のディスクを継続して利用可能

新しい設定等の詳細については本誌別記事「SR8000/MPP 超並列ジョブ実行サービスにおけるサービス内容の一部変更について」を御覧ください。

3.4 SR8000/MPP インタラクティブ環境の一部変更について

2005年9月のP128サービスのシステム切替時、SR8000/MPPのインタラクティブシステム mpp-s の環境を一部変更します。変更点は以下のとおりです。

- ・2ノードまでの並列ジョブのデバッグ・テスト実行環境の廃止
- ・ジョブ投入形式によるデバッグ・テスト実行キューの新設

詳細については本誌別記事「SR8000/MPP インタラクティブ環境の変更とデバッグ用ジョブクラスの新設について」を御覧ください。

3.5 SR11000/J1 batch システムのホームディレクトリーについて

2005年8月1日(月)よりSR11000/J1にてインタラクティブシステム (sr11000-s) の試験運用を開始しました。それに伴い、現在 sr11000-s にログインした際のホームディレクトリーが /batch に変更となっております。また、batch システムについては2005年9月30日の月末処理時にホームディレクトリーを /home から /batch に変更します。そのため、9月30日以降にバッチジョブを実行する場合(30日以前からキューで待っているジョブを含む)は、ジョブスクリプト中のディレクトリーの指定に御注意下さい。